



NNA (THAILAND) CO., LTD.

23/61 Sorachai Building 18 Floor, Sukhumvit 63 Road, North Klongtan, Wattana, Bangkok, 10110 Thailand
Tel : 02-392-0475 Fax : 02-392-0479 E-mail : sales_th@nna.asia

MCI(P)107/04/2016

JMAが製造現場の会合開催 海外初、6社が「改善」披露

日本能率協会（JMA）は6日、タイの首都バンコクで製造現場の従業員の会合「ゲンバ・マネジメント・カンファレンス&アワード2016」を開催した。JMA本体が主導する同会合の実施は海外初で、約240人が参加。自動車、家電、建機産業から計6社が事例を発表し、「日本を超える生産効率を目指す」などと意欲的な目標が示された。



製造現場の改善で最優秀事例賞を受けたサイアム・コンプレッサー・インダストリーの担当者（右）＝6日、バンコク（NNA撮影）

マツダ、コマツ、トヨタ紡織、日産自動車、三菱電機、ダイキン工業のタイ製造拠点の各担当者が製造現場の生産効率の改善事例を披露した。いずれもJMAが昨

年に発足させた「タイ（バンコク）評議員会」が認めた優秀な事例。三菱電機傘下の空調機器用圧縮機の製販会社サイアム・コンプレッサー・インダストリーが最優秀事例賞を受賞した。

登壇したマツダのトランスミッション工場、マツダ・パワートレイン・マニュファクチャリング（タイランド）＝MPMT＝のスーパー・スーパーバイザー（完全組立セクション担当）は「5年以内に本社に勝てる生産効率を達成する」との目標を明らかにした。

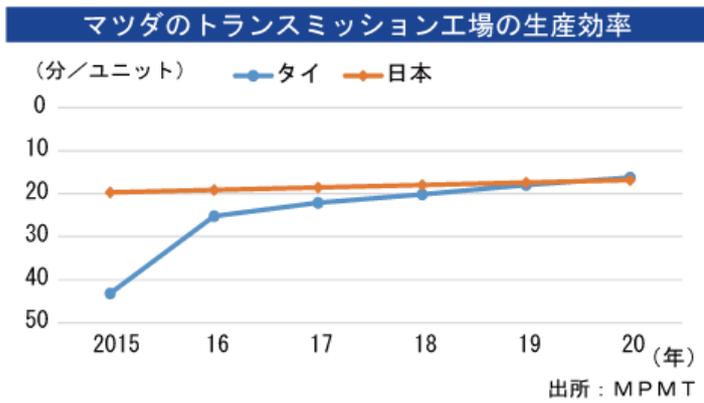
マツダは山口県防府市とタイにトランスミッション工場を持ち、タイの量産開始は2015年1月と比較的歴史が浅い。昨年のタイの生産性をみると、1基当たり40秒以上、タクトタイムは同70秒以上で日本の2倍ほどの時間を要したが、日本との協力で本社を上回る生産効

（次ページへ続く）

NEWS HEADLINES

【製造】JMAが製造現場の会合開催	1	【社会】小学校低学年の英語授業、週5時間に増加	7
【製造】サハ、消費財フェアを30日に開幕	3	アジア情報	
【化学】進出 曾田香料、タイに合弁工場建設	3	【製造】京セラの江西工場が完成、切削工具を生産	8
【化学】バイオプラ産業、1500億円の投資誘致へ	3	【化学】住友化学、インド農薬ECC株45%取得	8
【経済】バイオとロボット工学を拡充、CP会長	4	【商業】イオン、ジョ州の自社モールに新テーマパーク	8
【建設】Cトン、スイスホテルのオフィス部分を改装	4	【運輸】独物流シェンカー、ミャンマーに完全子会社	9
【建設】商業開発は「反動の年」に、開業小型のみ	4	【運輸】台湾の長栄海運、ルソン南部への寄港開始	9
【建設】基礎工シーフコ、過去最高の年商60億円へ	5	特集	
【車両】ブジョー販売、サービスセンターを拡張	5	【アジアで会う】西沢利光さん インクリメントPアジア社長	10
【繊維】衣料輸出、成長率目標を0～2%に引き下げ	5	マーケット情報、その他	
【IT】国営通信TOT、AISに150億円請求も	5	商品市況	11
【IT】コンピューター犯罪法改正、市民団体が懸念	6	クロスレート	11
【IT】電子決済拡大が成長押し上げ、VISA調査	6	マーケット情報 為替と株式	12
【労働】20業種の技術者賃金、年内に発効へ	7	各地のコラム	13
【公益】電力消費量、観光客百万人ごとに0.1%増	7		
【金融】農業銀行、融資利用者向けに農業保険を支援	7		
【農水】焼却予定の劣化キャッサバ、燃料に転用	7		

率を実現させる考えだ。



実現に向け、600 以上ある作業工程を 5 段階に分類。このうち作業員が製造ラインの「後ろを向いてしゃがんで部品を取る」「後ろを向いて手を伸ばして部品を取る」というロスが生まれていた工程が 100 以上あったことを特定しており、より作業が効率的に実施できるよう改善を進めている。

コマツは、タイの建機や鋳造品の製販会社バンコクコマツから米国向けに製品を販売するために品質向上を進めてきたことを説明。「日本本社と同水準」を目標としている。

トヨタ紡織からは、トヨタ紡織サイアムメタルがエンジン部品であるシリンダーヘッドカバーの生産開始に向けた職場作りを紹介。同社はシート用プレス部品を製造しており、新たな試みとなる。日産自動車の現地法人、タイ日産自動車(NMT)は、人材育成システムの工夫で新技術への対応力を引き上げていることなどを披露した。

コスト削減に細分化と効率化

家電業界からは、サイアム・コンプレッサー・インダストリーとダイキン工業のタイ法人ダイキン・インダストリーズ・タイランド(DIT)が事例を紹介。

サイアム・コンプレッサー・インダストリーは、最低賃金の高騰を受けて 11~16 年に生産性を 30% 引き上げる目標を掲げ、達成に向けた課題の細分化を実施。各部

門のうちクランクシャフトの第 2 ラインに問題があることを突き止め、改善に至るまでの過程をデータで説明した。

DIT は、部品運搬の改善を中心に講演。「数百キロを超える重い空調機部品も取り扱っており、運搬の効率化と安全性の確保が必要だった」(担当者)ため、大型部品コンベヤー技術などを考案。コンベヤーと同じ高さの台車の導入などで搬出までの作業効率が上がったという。

JMA 会長「日タイ連携強化へ」

会場を訪問した JMA の山口範雄会長(味の素・特別顧問)は「日本とタイとの連携を深化させる必要がある」と指摘。タイは日本の製造業の要衝として産業集積が著しいが、「2011 年のタイ大洪水に代表されるようなさまざまなリスクに対してより柔軟な対応が求められる時代となっている」。



「日本とタイの連携を密にする」と意欲を語る JMA の山口会長 = 6 日、バンコク (NNA 撮影)

革新に向けたカギは、『旗振り役の管理職』と『現場のリーダー』の関係の強化」(山口氏)。コスト削減にとどまらない製造業の進化に向け、日本との密な関係に基づいた現場改善が必要との見解を示した。

JMA が昨年設置したタイ評議員会は現在 12 社が参加し、海外の同様の機関としては上海に続く 2 カ所目。企業の要望を詳細に把握して事業に反映させるための組織だ。JMA グループでは、タイで日本能率協会コンサルティング(JMAC)が 1992 年に活動を開始し、2008 年に同社のタイ法人 JMAC タイランドを設立していた。

PHOTO NEWS



日本能率協会(JMA)が開催した会合に製造現場のリーダーら約 200 人が参加 = 6 日、タイ(NNA 撮影)

TAKE OFF

ペットと一言で言っても、犬や猫から猛獣のライオンまで、その範囲はかなり広い。ペットと呼ぶのははばかられるが、タイ西部のカンチャナブリ県の寺院で飼育されていたトラ 147 頭の保護騒ぎは、国の管理が行き届かないところまでこれだけの猛獣が飼われていたという事実だけで背中が寒くなる。

家で飼っている猫は、まだ小さい子猫の時から面倒を見ていて、愛着がある。でも大きくなると、ツメは鋭く、遊び方もかんだり引つかいたりど激しく、腕から血が出ることもあつてかわいいただけでは済まない。これが猛獣のトラならなおさらだ。

保護されたトラのうち、10 頭はおりにも入れられていなかった。トラの他にも、個人が飼うには危険すぎる猛獣がまだ放し飼いにされているのではないか。トラの同情すべき飼育環境以上に気になった。

【タイ - 製造】

サハ、消費財フェアを30日に開幕



ブンヤシット会長(右)はサハ・グループ・フェアを30日に開幕すると発表した=6日、バンコク(NNA撮影)

タイの消費財大手サハ・グループは6日、毎年恒例の消費財販売会「サハ・グループ・フェア」を30日から7月3日まで開催すると発表した。政府が「デジタルエコノミー」政策を掲げていることなどを受け、QRコードや3D

技術などを使った新たな買い物方法をアピールする。

フェア会場はサービス、食品、ファッション、化粧

品、特別ステージに分けられ、1,000ブースが設置される。サービスでは3D技術を使ったバーチャルショップ、テレビで映される気に入った商品のQRコードを自身のスマートフォンで読み込み、インターネット上で購入する方法、バーチャル試着室といった最新技術も紹介する。

フェアには期間中に100万人が来場し、売上高は3億バーツ(約9億円)に達する見通し。会場はバンコクのクイーン・シリキット国際会議場。

サハのブンヤシット会長は、タイ経済が下半期(7~12月)に回復に向かうと予測。今年の売上高目標は前年比5~6%増に設定した。年末までにタイ北部メーソートで織物とプラスチック関連の工場設置を進め、周辺国の購買力取り込みも進める。

【タイ - 化学】 《日系進出》

曾田香料、タイに合弁工場建設

香料を製造・販売する曾田香料(東京都中央区)は、タイで食品・飲料向け香料の生産を開始する。地場の商社ナムシャンとの合弁で工場を建設する計画だ。投資総額は5億円で、来年7月に稼働する見込み。国内市場が頭打ちとなる中、東南アジアで拡大する需要に対応する。

曾田香料の担当者が6日、NNAに説明したところによると、タイで化粧品、フレグランスなどの化学事業を手掛けるナムシャンと、3日に合弁契約を結んだ。工場はナムシャンの保有する敷地内に建設する見込み。

曾田香料はこれまで中国、台湾で香料を生産しているが、中国市場の停滞などを背景に、今後は成長が見込める東南アジアでの事業を強化する方針。まずはタイに進

出する日系の食品・飲料メーカー向けに供給し、地場企業にも販路を拡大する考え。将来的には食品・飲料だけでなく、化粧品向け香料も生産する考えだ。

成長が顕著なイスラム圏向け輸出も視野に入れる。日本の工場はイスラム教の戒律に従った「ハラール」認証を取得しており、タイ工場での認証手続きも進める。シンガポールでは、ハラール対応に精通する香料メーカーと提携。月内に合弁の販売会社を設立する計画だ。

曾田香料の2016年3月期の売上高は、前年比1.7%減の160億9,600万円。地域別では日本が8.2%減少した一方で、アジアが10.1%増加した。売上高の3割をアジアが占めている。

【タイ - 化学】

バイオプラ産業、1500億円の投資誘致へ

タイ・プラスチック研究所のクリアンサク所長は、国内のバイオプラスチック産業の投資環境を整備すれば、来年末までに外国企業から最大500億バーツ(約1,518億円)規模の投資を呼び込めるとの見方を示した。6日付クルンテープ・トゥラキットが報じた。

タイでは、官民が政府と協力して石油化学部門のクラスター形成を推進しており、来年末までに2,000億バーツ以上の投資誘致を目指している。石油化学の上流部門に1,500億バーツ、将来的な成長が見込まれるバイオプラスチック部門に300億~500億バーツの投資を呼び込みたい考え。

クリアンサク所長によると、タイはサトウキビなど

バイオプラスチックの原料を豊富に供給できる体制が整っており、国内需要が年間2万トン規模になれば多くの外国企業の進出が期待できるという。このため、国内のスーパーなど小売各社にバイオプラスチック製のレジ袋を導入するよう求め、政府にも調達品をバイオプラ製品に切り替えるよう進言する。

現時点では、タイでバイオプラ原料を製造しているオランダ企業がプラスチックペレットの生産に乗り出す計画を明らかにしているほか、米ネイチャーワークスがタイとマレーシアのいずれかに工場を建設する方針を打ち出している。

【タイ - 経済】

バイオとロボット工学を拡充、CP 会長

タイの大手財閥チャロン・ポカパン（CP）グループのタニン会長はこのほど、バイオテクノロジーやロボット工学などに力を入れる方針を明らかにした。「タイはもはや労働集約型産業の拠点ではなく、収入増と輸出振興のためにハイテク産業への移行が必要」と指摘している。6日付バンコクポストが報じた。

バイオテクノロジーは、野菜、果物、鶏、豚、魚、エビ、健康食品の開発と生産性向上に活用する。パートナー企業や教育機関と研究開発（R&D）の提携を進めて

おり、現在はデュポン（タイランド）と食品技術の分野で5件のR&D事業を展開。米ハーバード大学とは豚のDNA解析で4件のR&Dを行っており、健康管理の推進や生産性向上につなげる計画だ。

ロボット分野では、畜産業での活用を視野に入れ開発を進める。中部サラブリー県の養鶏場では既にロボット700台を導入しているという。

研究開発費については明らかにしなかったが、現時点で年間売上高の5～6%を占めているという。

【タイ - 建設】

C トン、スイスホテルのオフィス部分を改装

シチズンなどの腕時計を輸入販売するCトン・パニットは、バンコク・ラチャダピセーク通り的高级ホテル「スイスホテル・ル・コンコルド・バンコク」のオフィスビル部分の大型改装に乗り出す。6日付クルンテープ・トゥラキットが報じた。

投資額は1億2,000万バーツ（約3億6,000万円）。10月の着工、4カ月後の完成を目指す。ラチャダピセーク通りではTCCグループが自社のオフィスビル「サイバー・ワールド・タワー」の反対側に商業施設「ザ・ストリート」を開発するなど、オフィスビルの顧客誘致競

争が激しくなっており、Cトンはコンコルドの改装により入居率の引き上げを図る。現在の入居率は75%。Cトンがバンコク東部バンナー・トラート通りで運営するオフィスビル「MDタワー」の入居率は100%となっている。

Cトンはコンコルドのホテル部分の改装も進めており、改装後は宿泊料を現在の1泊3,500バーツから4,500バーツに引き上げる。昨年の客室稼働率は86%。今年第1四半期（1～3月）は82%だった。

【タイ - 建設】

商業開発は「反動の年」に、開業小型のみ

米系不動産仲介大手CBREタイランドはこのほど、第1四半期（1～3月）の首都バンコクにおける商業施設の供給面積が計720万平方メートルだったと発表した。前年同期比で7.0%増加したが、前期比では0.9%増と勢いがなかった。小売市場の停滞で大規模事業の新規開店を遅らせる傾向があり、今年は過去数年に相次いだ新規オープンの反動で供給が滞る見通した。

1～3月の新規供給は、小規模開発9件による計6万平方メートルだった。大型では「エムスフィア」「メガランシット」「バンコクモール」「セントラルモール」などの計画が相次いで先送りされ、年内の開店は難しい状況だ。

供給面積は2014年と比べると約90万平方メートル増えており、各地区にモールが林立するようになった。

集客競争が激化する一方で、小売市場の低迷を受けて新規入居が伸び悩み、入居率は前期から0.3ポイント下降の92.9%。CBREは、今年は入居率の低下に歯止めがかかるが、賃料収入の増加は限定的とみている。

16年1～3月のバンコクの商業施設市場

	全体	中心部	中間	郊外
供給スペース	7.2	1.5	2.0	3.6
入居スペース	6.7	1.3	1.9	3.4
空きスペース	0.5	0.1	0.2	0.2
入居率	92.9%	91.0%	92.0%	94.2%

単位は100万平方メートル

出所：CBRE



【タイ - 建設】

基礎工シーフコ、過去最高の年商60億円へ

基礎工事を手掛けるタイのシーフコは、鉄道複線化の大型案件受注により、今年の売上高が過去最高の20億パーツ(約60億円)に達すると予測を示した。3日付クルンテープ・トゥラキットが報じた。

先ごろ、東北部ナコンラチャシマ県ジラ・ジャンクシオン~コンケン県の鉄道複線化工事を受注したゼネコン大手チョーカンチャンから杭打ち工事を請け負った。10億パーツ規模とされる同路線の杭打ち工事のうち、3億~4億パーツを手掛ける。第2四半期(4~6月)中に売上高が発生する見通しだ。

シーフコの売上高の過去最高は2014年の19億パーツ。昨年は景気回復の遅れで18億8,200万パーツと減収だった。今年1~3月の売上高は5億1,200万パーツ。現時点で鉄道複線化工事のほかに7億7,600万パーツの受注が確定しており、さらに50件、26億6,000万パーツ相当の事業入札に参加している。このうち25~30%を受注できるとみている。ミャンマーから2億パーツ程度の工事も受注する予定で、今年の海外事業比率は10%に達する見通し。

【タイ - 車両】

プジョー販売、サービスセンターを拡張

タイでフランスの「プジョー」「シトロエン」両ブランドの車両販売、アフターサービスを手掛けるヨーロッパ・モーターカーズは、年内に5,000万パーツ(約1億5,200万円)を投じ、ショールーム兼サービスセンターの改装・拡張を行う計画だ。サービス体制を強化し、低迷する売り上げの巻き返しにつなげる。6日付バンコクポストが報じた。

ショールームは、バンコクの2カ所、北部チェンマイ県と南部ソンクラーク県ハジャイの各1カ所に設置して

いる。改装後のアフターサービス対応可能台数は、月間でプジョー2,500台、シトロエン1,500台となり、現在の計500台から大幅に拡大する。

昨年の同社のプジョー車の販売台数は100台で、今年は150台に増える見込みだ。シトロエンは事業再編中だとして、予測を明らかにしなかった。2018年までにショールームを4カ所増やし、年間の販売台数を計500台に引き上げる目標だ。

【タイ - 繊維】

衣料輸出、成長率目標を0~2%に引き下げ

タイ衣料品製造業者協会(TGMA)のターウォン会長は、今年のタイの衣料品輸出額の成長率目標を5%から0~2%に引き下げたと発表した。プラチャーチャート・トゥラキットの最新号が報じた。

今年1~4月の衣料品輸出額は前年同期比8%減の7億9,300万米ドル(約849億円)。衣料品の主な輸出先である米国や欧州の景気回復が遅れて伸び悩んだため、通年目標を引き下げた。

TGMAは、下半期(7~12月)に巻き返しを図るため、日本や東南アジア市場の開拓を強化する。CLMV

諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)については、現地に進出している大手企業に中小企業の進出を支援させる商務省の提案に基づき、市場開拓を進める。

TGMAによると、周辺国に製造拠点を移転したタイの衣料品メーカーは34社に上っており、今年の現地からの輸出総額は6億米ドル、来年には10億米ドルになる見通し。タイからの衣料品輸出の伸び悩みはこうした移転の影響があり、地域全体で見れば安定して伸びていると説明している。

【タイ - IT】

国営通信TOT、AISに150億円請求も

タイの国営通信TOTはこのほど、国家放送通信委員会(NBTC)に対し、携帯通信最大手アドバンス・インフォ・サービス(AIS)がTOTに50億パーツ(約152億円)の事業権料を支払うべきとの考えを伝えた。AISは、昨年9月の事業権失効後もTOTの電波を使用している。6日付ネーションが伝えた。

対象の電波は、AISの第2世代(2G)通信サービス向けに使用している900メガヘルツ(MHz)帯。N

BTCは利用者の混乱を避けるため、AISの事業継続を容認し、専門の委員会にTOTが受け取るべき金額を試算するよう指示していた。

NBTCは当初、昨年10月~今年3月の猶予期間を設定し、AISに1億2,500万パーツを支払うよう要請。しかしAISは、同業他社が過去に直面した同様のケースと金額の算出方法が異なるとして、支払いを拒否した経緯がある。

【タイ - IT】

コンピューター犯罪法改正、市民団体が懸念

タイの市民団体タイ・ネチズン・ネットワークは、コンピューター犯罪法の改正案について、政府による個人のプライバシー侵害につながる懸念を表明している。6 日付バンコクポストが伝えた。

同団体の担当者は、国家立法議会（NLA）の第 1 回読会を通過した改正案について、オンライン上で暗号化されたデータを取得する権限を情報通信技術（ICT）省に与える可能性があるとして指摘。ICT 省から流出した文書に「コンピューターのデータ流出防止に関する基準を ICT 相が定める」との記載があるとして、この内容が改正案に盛り込まれた場合、利用者の深刻な人権侵害

につながる懸念を警告した。現在はソーシャルメディアやオンライン上の銀行決済で個人情報の保護のためデータが暗号化されているが、「政府機関がこうした個人情報をいつでも入手できる状況になり得る」と指摘している。

一方、米系法律事務所ペーカー & マッケンジーの関係者は「改正案は裁判所が承認した場合にのみ違法な内容を削除する権限がある」と指摘。「市民団体の主張は行き過ぎた法解釈で、改正案が暗号化されたデータへの取得につながることはない」との見解を示している。

【タイ - IT】

電子決済拡大が成長押し上げ、VISA 調査

クレジットカード大手の VISA（ビザ）が 2 日発表した「電子決済が経済成長に与えた影響に関する調査」によると、クレジットカード、デビットカード、プリペイドカードの利用を含む電子決済の拡大が、2011～15 年にタイの国内総生産（GDP）に及ぼした経済効果は 31 億 8,000 万米ドル（約 3,400 億円）、率にして 0.19% だった。年平均 7 万 5,730 人の雇用を創出した。

調査は、VISA の委託を受け、ムーディーズ・アナ

リティックスが実施した。経済への波及効果は、アジア地域の平均 0.06% の 3 倍で、域内では最高。周辺国では、ベトナムが 0.14%、シンガポールが 0.1% で続いた。

ムーディーズ・アナリティックスは世界の GDP の約 95% を占める 70 カ国を対象に、11～15 年に経済成長に電子決済が与えた影響を分析した。70 カ国の GDP は 2,960 億米ドル押し上げられ、家計消費は年平均 0.18% 増加した。雇用創出は年平均 260 万人。

【タイ - 労働】

20 業種の技術者賃金、年内に発効へ

タイ労働省技能開発局のクリーター局長は、5 産業 20 業種の技術者の新たな賃金基準が 8 月に官報で告示され、90 日後に発効すると明らかにした。労働者の技能水準引き上げ意欲を啓発するため、さらに 66 業種で導入する方向で検討を始めた。

新たな賃金基準は、国家賃金委員会が 3 月に承認。電気・電子、車両部品・パーツ、車両、宝石、物流の 5 産業 20 業種をそれぞれ 2 階級に分け、階級別の賃金を設定した。クリーター局長によると、官報に記載される内容は賃金委員会の承認時と同じ。66 業種の賃金基準案は既に賃金委に提出されているものの、業種は明らかにしていない。

6 日付クルンテープ・トゥラキットによると、従来は 6 産業 35 業種（機械 6、サービス 6、電子・コンピューター 5、工業技術 6、建設 7、工芸 5）で、日給は 320～815 バーツ（約 966～2,460 円）に設定。これまで

に 2 万 4,564 人が認定を受けた。今回設定される賃金基準も、技能開発局の試験を受け、認定証を雇用主に提出することで適用される。

最低賃金の引き上げは未定

クリーター局長によると、最低賃金の引き上げ時期はまだ未定。国家賃金委員会は、インフレ率と各地域の生活費を調査することを目的に先に 2 カ月の検討期間を申請していた。調査結果はまだ提出されていないという。

最低賃金は、インラック前政権が 2013 年 1 月 1 日に全国一律で 1 日当たり 300 バーツに引き上げてから改定されていない。従来は県別に設定され、159～221 バーツのレンジで平均は 176 バーツだった。



The Daily NNA
労務・人事・安全ニュース



【タイ - 公益】

電力消費量、観光客百万人ごとに0.1%増

タイの独立団体エネルギー環境基金が実施した2015年の調査で、外国人旅行者が100万人増加することに電力・ガスの消費量が0.1%、燃料の消費量が0.05%上昇したことが分かった。

経済活動を行う各セクターでエネルギー消費量の増加が確認されたが、特に観光業の影響が大きかった。タイを訪れる観光客が年々増加していることで、鉄道や航空などの直接的なエネルギー消費に加え、宿泊や飲食サ

ービスなどの間接的な消費が増加傾向にあると指摘している。

報告によると、昨年の外国人旅行者数は前年比20.4%増の2,988万人。外国人旅行者の支出額は23.4%増の1兆4,500億バーツ(約4兆4,000億円)で、このうち宿泊は26.2%、飲食は22.5%、交通は5.3%それぞれ増加した。

【タイ - 金融】

農業銀行、融資利用者向けに農業保険を支援

タイの農業・協同組合銀行(BAAC)は、農家が加入する農業保険の一部を負担する計画だ。農家のリスクを軽減するほか、保険でカバーされる水田の面積を全国3,000万ライ(480万ヘクタール)に拡大する政府目標の達成につなげる。6日付バンコクポストが報じた。

BAAACは、稲作の資金として同行から融資を受けている農家を対象に、保険料のうち1ライ当たり40バーツ(約121円)を負担する。月内に閣議承認を取り付け、実行に移す計画だ。

現行の農業保険では、保険料は地域の災害リスクにより1ライ当たり124~484バーツ。農家は60~100バーツを支出し、政府が残りを負担している。洪水、干ばつ、嵐、火災などの自然災害では1ライ当たり1,111バーツの保険金が支払われ、政府の災害補償1,113バーツと合わせ、計2,224バーツを受け取ることができる。病気の被害では555バーツの保険金が支給される。

タイ国内の水田面積は6,000万ライに上るが、昨年に保険がかけられたのは150万ライにとどまった。

【タイ - 農水】

焼却予定の劣化キャッサバ、燃料に転用

タイ商務省傘下の倉庫公団(PWO)は、劣化により焼却処分するとしていたキャッサバ3万1,400トンを燃料に転用する方針を明らかにした。6日付ポストトゥデーが報じた。

当初は2008~09年に買い取った劣化の激しいキャッサバ3万1,400トンを焼却処分とし、11~12年と12~13年に買い取った計34万9,000トンを燃料にする方針だったが、スラナリ工科大学(東北部ナコンラチャシマ

県)が08~09年分も燃料に利用できるとの調査結果を提出したため全量を燃料に転用する。セメント、発電、エタノール製造などに利用する。

これらのキャッサバはタクシン元首相派のソムチャイ政権とインラック政権下で買い取られた後、保管状態が悪く劣化が進んだもので、PWOは倉庫会社や検査会社を相手取り、計87件の損害補償請求訴訟を起こしている。

【タイ - 社会】

小学校低学年の英語授業、週5時間に増加

タイのティラキアット教育副大臣は、教育省基礎教育委員会(OBEC)管轄下の初等学校(日本の小学校に相当)の1~3年を対象に、11月から英語授業の時間を増やす計画を明らかにした。現行の週1時間から5時間に、1学期で40時間から200時間に増やす考え。6日付バンコクポストが報じた。

英語授業の拡大は、語学能力の向上を図る政策の一環として実施する。既に一部の学校で試験的に授業時間を

増やしており、これが成功した場合は、全国の学校で実施する方針だ。

授業時間の増加に備えて、英語専門家養成コースを受講したタイ人の英語教師350人を全国各地の学校に派遣し、各校の教師の指導に当たらせる。教員不足を補うため、退職した英語教師に復職してもらい、地方の小規模校などに派遣することも計画している。

アジア情報

【中国 - 製造】

京セラの江西工場が完成、切削工具を生産

電子部品や情報通信機器を手掛ける京セラ（京都市伏見区）は 6 日、江西省カン州市（カンとはへんが章でつくりが女の下に貢）で建設を進めていた工場が先月末に全面的に完成したと発表した。自動車産業向けに切削工具を生産する。同工場は昨年 6 月に着工。今年 1 月に生産ラインの一部が先行稼働していた。今後は稼働率を引き上げていく。

工場はカン州市経済技術開発区に設けた。敷地面積は 2 万平方メートル、延べ床面積が 2 万 3,000 平方メートル。切削工具の一種である超硬チップを生産する。超硬チップは自動車のエンジンなど金属部品の加工に用いられ、素材にはタングステンが使われている。主に中国市場で生産活動を行う自動車部品メーカー向けに供給される。

工場は合弁会社が運営する。京セラは昨年 1 月、タングステン精錬会社のカン州海盛タングステンモリブデン集団（江西省カン州市）と合弁会社、京セラ精密工具（カン州）（同、K P T G）を設立。資本金は 1 億元（約 16 億円）で、出資比率は京セラが 75%、カン州海盛タ

ングステンモリブデン集団が 25%。

同工場は東莞市（広東省）珠海市（同）上海市に続く 4 カ所目の機械工具の生産拠点となる。京セラは中国の機械工具の生産拠点 4 カ所の 2019 年度の売上高の目標を 15 年度比約 1.5 倍の 200 億円に設定している。



京セラの江西工場の外観（同社提供）

【インド - 化学】

住友化学、インド農薬 E C C 株 45% 取得

住友化学は 6 日、インドの農薬企業エクセル・クロップ・ケア（E C C）の株式 44.98% を買収することで合意したと発表した。今後、公開買い付けにより最大 75% まで追加取得し、出資額は計 100 億ルピー（約 160 億円）になる見通し。

E C C の創業者と金融機関から買い取る。E C C が持つ豊富な製品ラインアップと、販売チャンネルを活用して、インド国内だけでなく国外への販売強化にも取り組む。同社は 1941 年創業、2003 年設立。西部マハラシュトラ州ムンバイに本社を置き、インドの農薬市場で第 5 位の売上規模を持つ。2015/16 年度（15 年 4 月～16 年 3

月）の連結決算は、売上高が前年度比 11.4% 減の 88 億 1,136 万ルピー、純利益が 3.0% 減の 6 億 1,320 万ルピーだった。

インドの農薬市場は、過去 5 年間に年平均 6.4% で成長。住友化学の広報担当者は N N A に対し、「今後も人口増加に伴う食糧増産のため、インドの農薬市場は高い成長が続く」と説明した。住友化学は 00 年にインドで農薬の製造・販売を開始した。10 年には、地場農薬ニューケミンダストリーを買収し、事業基盤の強化に努めてきた。

【マレーシア - 商業】

イオン、ジョ州の自社モールに新テーマパーク

イオン・マレーシアが 20% を出資する関連企業、イオン・ファンタジー・マレーシアは 10 月、ジョホール州の「イオンモール・トゥブラウ・シティー」の新館にテーマパーク「ファンベッカ」を開業する計画だ。6 日付スターが伝えた。

ファンベッカは「遊びから学ぶ」というフィンランドのテーマパークのコンセプトに基づき、東南アジアでは初の開設となる。対象は 2 歳から 12 歳までの子ども。

面積は 2 万 7,500 平方フィート（約 2,555 平方メートル）開業日は 10 月 27 日の予定だ。

イオン・ファンタジーは同様のテーマパークをマレーシア全土で展開していく方針だ。当初の設備投資は 1,000 万リンギ（約 2 億 6,000 万円）で、月間 6,000 家族の来場で初年度に 1,000 万リンギの収入を見込んでいる。

【ミャンマー - 運輸】

独物流シエンカー、ミャンマーに完全子会社

ドイツ鉄道傘下の物流大手D Bシエンカーは1日、ミャンマーで完全子会社シエンカー・ミャンマーを設立した。同国内の事業を強化する狙い。

ミャンマー・ビジネス・トゥデー（電子版）によると、ミャンマーではシエンカー・タイのヤンゴン支店として1999年から事業を展開してきた。完全子会社の設立で新たに80人以上の雇用を創出し、通信・消費財部門の顧客向けに物流・倉庫管理を手掛けていく。一方で、輸出入手配、通関、輸送は引き続きシエンカー・タイが担当する。

シエンカー・ミャンマーでゼネラルマネジャーを務めるネイ・トゥ・アウン氏は「ミャンマーでは12年の制裁解除からインフラ・製造・販売部門への投資が急増している」と説明した。

シエンカーは、ラオスとカンボジアでも13年と14年にそれぞれ現地支店を完全子会社化した。シエンカー・アジア太平洋地域のディレクター・ブリッカー最高経営責任者（CEO）は「メコン地域の物流を1社が取り扱うことで顧客に真のエンドツーエンド物流サービスを提供する」と抱負を語った。

【フィリピン - 運輸】

台湾の長栄海運、ルソン南部への寄港開始

台湾の海運大手、長栄海運（エバーグリーン・マリナー）が、フィリピンのバタンガス・コンテナ・ターミナル（BCT）に寄港する定期便の運航を開始した。大阪など日本の5都市と台湾、香港、中国本土を巡るルートで、毎週火曜日にBCTに寄港する。

3隻体制で、1隻当たり21日で全寄港地を回る。BCTは高雄の次で、マニラ南港を経由して高雄に戻る。

6日付の地元紙マラヤによると、BCTにとって、長栄海運は5社目の寄港船となる。同港には現在、海運大手APモラー・マースク傘下のMCCトランスポートや中国のSITCコンテナラインズなどが寄港している。

BCTはバースが2本で、コンテナ貨物の年間取扱能力は30万TEU（20フィートコンテナ換算）。船の貨物を積み降ろすガントリークレーンは2基設置されている。

昨年の貨物取扱量は前年比32%増の13万2,000TEUで、10年の供用開始以来、過去最高を記録した。BCT

はカラバルソン（南部タガログA）地方に位置しており、周辺にはフィリピン経済区庁（PEZA）認定の工業団地が集積する。



出所：長栄海運

予 定

7日

4月景気動向指数ほか

【国内】

<政治>

- ・日モンゴル経済連携協定（EPA）が発効

<経済>

- ・4月の景気動向指数（14時、内閣府）
- ・4月の消費活動指数（14時ごろ、日銀）

<社会>

- ・第12回水害サミット
（15時、東京都千代田区・毎日新聞東京本社）

情報提供：共同通信

アジアで会う *Talking in Asia*



西沢利光さん インクリメントPアジア社長

第108回 地図を通じて社会に貢献(タイ)

にしざわ・としみつ 1969年6月生まれ。北海道函館市出身。大学でバイオテクノロジーを学んだ後、大手食品メーカーに入社。結婚後、子どもが生まれたのを機に、98年にIターンでカーナビソフトなどを作成するインクリメント・ピーの岩手拠点で働くことに。海外企業への地図整備委託の担当などを経て、昨年11月にタイに赴任した。休日はタイの暑さに苦しみながらも、赴任後に始めたゴルフを楽しむ。



東南アジア諸国連合(ASEAN)10カ国を全て網羅する詳細な地図データの作成 世界初となる取り組みに向け、中国やベトナム、インドなど海外の委託先を通じた地図作りの経験を買われ、昨年1月にタイに設立された新会社の社長に就任。1カ国目となるタイの地図作成の陣頭指揮を執る。

日本で地図は「あって当たり前のモノ」。しかし、タイでの浸透度はいまひとつ。「地図メーカーなのに、うちの会社のドライバーは全くカーナビを使ってくれません。電源すら入れてくれない」とか。それでも、自家用車やスマートフォンなどの普及に伴い、ASEANでの地図データ需要は拡大傾向にあるという。

足で稼ぐ

地図作りはフットワークがものをいう地道な作業だ。タイではカメラを搭載した車1台につき2人ずつが乗り込み、実際に道路を走って情報を集める。道路状況などを5メートル間隔で撮影して会社に持ち帰り、膨大な画像を見ながら道路標識や一方通行といった通行

規制、商業施設などに関する情報をベースとなる地図データに落とし込んでいく。

タイでの地図作りは日本と比べると相当に困難を極める。「自治体の刊行物やインターネット、調査会社への委託など、無数の情報ソースがある日本と違い、地図に関する情報がほとんど流通しておらず、ほぼ全てを現場で集める必要があるんです」

昨年は首都バンコクと地方の国道、高速道路など主要道を中心にデータを収集。北部チェンマイや南部ブーケットなどへの出張は、「一度行ったら1カ月は帰って来られない」こともあり、担当者の定着率の低さに頭を悩ませることもあった。それでも、「地図作りはタイの発展を支援する、世の中の役に立つ仕事」とスタッフを鼓舞し、数万キロ相当のデータを収集。今年はバンコクと近郊都市を対象に、昨年以上のボリュームでデータを集める考えだ。

目指しているのは、グローバルベンダーと呼ばれる世界大手が作成する世界標準の地図と、ローカル会社の地図の「いいとこ取り」。広範なエリアをカバーしつつ、地域ごとの特色を盛り込んだ地図作りが目標で、タイでは「ソイ」と呼ばれる脇道やUターン可能なポイントなどが重要となる。スタッフはバンコクの渋滞に苦しみながらも情報を集めているという。

ASEAN展開を本格化

昨年末のASEAN経済共同体(AEC)の発足などで、域内で人やモノの動きが活発化する中、ASEANを面で捉える地図に対する物流業界などからの引き合いは強い。本格的なASEAN展開に向け、今月中に人員を現行の2倍近くに増やす予定。現在までに10カ国中の大半でベースとなる地図の使用権を取得しており、残る国でも近く権利を確保できそうという。

「地図は人の生活を変えることができるツール。地方観光の振興や渋滞解消につながることも期待される」。地図を通じて人々の生活をより便利なものに目的は既に設定されている。あとはルートをひたすら進むだけだ。(タイ版編集・中島政之)

Bloombergより作成の参考値

海外主要市場の商品市況

取引所・時間	銘柄	直近値	前日比	取引所・時間	銘柄	単位	直近値	前日比
LME (06日11時40分)	銅先物	4718.00	30.00	NYMEX (06日6時40分)	WTI原油先物	バレル	49.13	0.51
	銅現物	4696.50	79.50		天然ガス先物	MMBTU	2.44	0.04
	アルミニウム先物	1554.50	10.50		ガソリン先物	ガロン	160.94	0.19
	アルミニウム現物	1534.75	6.75		灯油先物	ガロン	150.07	1.26
	すず先物	16800.00	210.00	COMEX (06日6時40分)	金先物	トロイオンス	1243.10	0.20
	すず現物	16601.00	319.25	銀先物	トロイオンス	16.42	0.05	
	鉛先物	1740.50	14.50	SICOM(06日18時40分)	ゴムRSS3先物	キログラム	152.50	2.20
	鉛現物	1722.00	10.25	シカゴ (06日5時40分)	小麦先物	ブッシェル	504.25	7.00
	ニッケル先物	8685.00	190.00	大豆先物	ブッシェル	1153.50	21.50	
	ニッケル現物	8510.00	145.00	トウモロコシ先物	ブッシェル	424.50	6.25	
	亜鉛先物	2020.00	28.00	ICE(06日6時40分)	砂糖先物	ポンド	19.30	0.55
	亜鉛現物	1989.25	9.75	日本(06日19時40分)	ナフサ先物	トン	427.75	0.25
上海 (06日18時40分)	亜鉛先物	15740.00	225.00	ドバイ(06日14時40分)	ドバイ原油	バレル	45.94	0.28
	金先物	263.80	5.30	ロンドン(06日11時40分)	北海ブレント	バレル	49.28	0.24
	鉛先物	12800.00	20.00	SICOM = シンガポール商品取引所				
	銅先物	36080.00	660.00	ICE = インターコンチネンタル取引所				
	銅線先物	2122.00	0.00	括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間				
	アルミニウム先物	11865.00	-95.00	限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月				

LME = ロンドン金属取引所

NYMEX = ニューヨーク・マーカンタイル取引所

COMEX = ニューヨーク商品取引所

LME、上海の単位：上海・金(グラム)を除き全てトン

値：SICOM、シカゴは米セント。上海は中国元。それ以外は米ドル

為替クロスレート 2016/6/6 19:30 JST (日本標準時)

通貨コード	JPY	USD	EUR	GBP	CNY	HKD	TWD	KRW	THB	VND	MMK	MYR	SGD	IDR	PHP	INR	AUD	NZD
日本円		0.0093	0.0083	0.0065	0.0612	0.0725	0.3014	10.8915	0.3293	208.712	11.10198	0.0383	0.0127	124.970	0.4315	0.6253	0.0127	0.0135
米ドル	107.1760		0.8798	0.6888	6.5642	7.7671	32.3075	1167.40	35.2910	22370.0	1190.485	4.1044	1.3607	13394.5	46.2505	67.0230	1.3612	1.4460
ユーロ	121.104	1.1366		0.7829	7.4608	8.8279	36.7202	1326.85	40.1112	25425.4	1353.09	4.6650	1.5465	15224.0	52.5677	76.1774	1.5471	1.6435
英国ポンド	154.619	1.4519	1.2773		9.5306	11.2770	46.9072	1694.95	51.2390	32479.0	1728.46	5.9592	1.9755	19447.5	67.1511	97.3106	1.9763	2.0995
中国人民幣元	16.3294	0.1523	0.1340	0.1049		1.1832	4.9218	177.843	5.3763	3407.88	181.360	0.6253	0.2073	2040.54	7.0459	10.2104	0.2074	0.2203
香港ドル	13.7999	0.1287	0.1133	0.0887	0.8451		4.1595	150.301	4.5437	2880.11	153.273	0.5284	0.1752	1724.52	5.9547	8.6291	0.1753	0.1862
台湾ドル	3.3176	0.0310	0.0272	0.0213	0.2032	0.2404		36.1340	1.0923	692.409	36.8486	0.1270	0.0421	414.594	1.4316	2.0745	0.0421	0.0448
韓国ウォン	0.0918	0.0009	0.0008	0.0006	0.0056	0.0067	0.0277		0.0302	19.1622	1.01977	0.0035	0.0012	11.4738	0.0396	0.0574	0.0012	0.0012
タイバツ	3.0368	0.0283	0.0249	0.0195	0.1860	0.2201	0.9155	33.0793		633.873	33.7334	0.1163	0.0386	379.544	1.3105	1.8992	0.0386	0.0410
ベトナムドン	0.0048	0.0004	0.0004	0.0003	0.0029	0.0035	0.0014	0.052	0.0016		0.05322	0.0002	0.0001	0.5988	0.0021	0.0030	0.0006	0.0001
シンガポールドル	0.0901	0.00084	0.00074	0.00058	0.00551	0.00652	0.02714	0.98061	0.02964	18.7907		0.0034	0.0011	11.2513	0.03885	0.05630	0.00114	0.00121
マレーシアリンギ	26.1133	0.2436	0.2144	0.1678	1.5993	1.8924	7.8714	284.426	8.5983	5450.25	290.051		0.3315	3263.45	11.2685	16.3295	0.3316	0.3523
インドネシアルピア	78.7737	0.7349	0.6466	0.5062	4.8243	5.7084	23.7442	857.972	25.9369	16440.7	874.94	3.0165		9844.19	33.9915	49.2581	1.0004	1.0627
フィリピンペソ	2.3173	0.0216	0.0190	0.0149	0.1419	0.1679	0.6985	25.2408	0.7630	483.670	25.7399	0.0887	0.0294	289.608		1.4491	0.0294	0.0313
オーストラリアドル	1.5993	0.0149	0.0131	0.0103	0.0979	0.1159	0.4820	17.418	0.5266	333.766	17.7623	0.0612	0.0203	199.85	0.6901		0.0203	0.0216
ニュージーランドドル	74.1169	0.6915	0.6084	0.4763	4.5395	5.3713	22.3422	807.314	24.4054	15469.9	823.278	2.8384	0.9410	9262.95	31.9845	46.3497	0.9413	

NNAは、メディア事業を通じて、アジアビジネスにかかわるすべての人と企業に貢献します。

■NNAグループ

<http://news.nna.jp/free/nna/group.html>

【東京】株式会社エヌ・エヌ・イー 本社

【北九州】株式会社エヌ・エヌ・イー 北九州事務所

【韓国】NNA JAPAN CO., LTD. SEOUL BUREAU, SEOUL BRANCH

【上海】上海時迅商務諮詢有限公司

【北京】上海時迅商務諮詢有限公司 北京分公司

【広州】上海時迅商務諮詢有限公司 広州分公司

【大連】上海時迅商務諮詢有限公司 大連連絡処

【香港】NNA HONG KONG CO., LTD.

【台湾】香港商亞洲情報網有限公司台湾分公司

【タイ】NNA (THAILAND) CO., LTD.

【フィリピン】NNA PHILIPPINES CO., INC.

【ベトナム】NNA VIETNAM CO., LTD.

【マレーシア】NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.

【シンガポール】NNA SINGAPORE PTE. LTD.

【インド】NNA SINGAPORE PTE. LTD. (INDIA LIAISON OFFICE)

【インドネシア】PT. NNA INDONESIA

■提携会社

【オーストラリア】NNA AUSTRALIA PTY. LTD.

【英国】Economic Media Bulletin Limited (EMB)

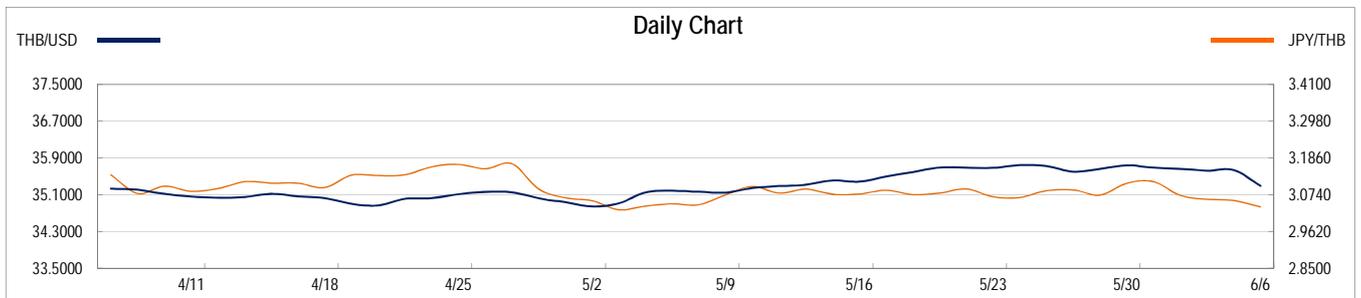


Bloombergより作成の参考値

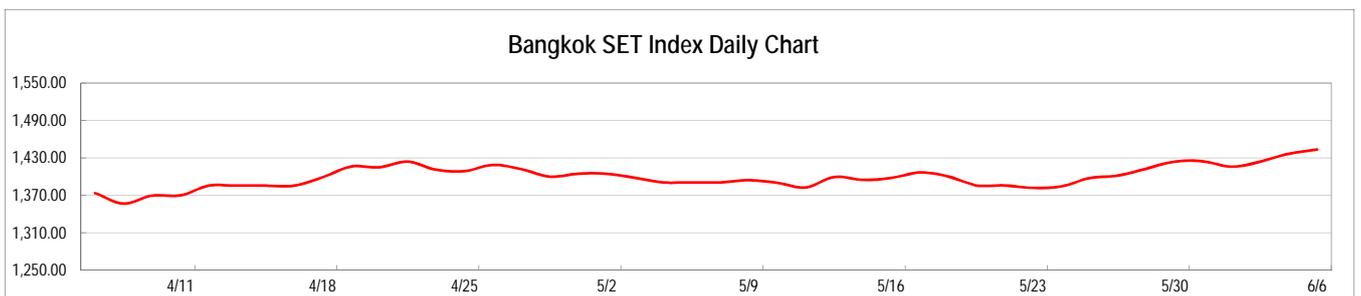
マーケット情報 為替と株式

為替											
地域	現地通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR	地域	通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR
オセアニア	ニュージーランドドル	6日	74.1169	1.4460	1.6396	アジア	ベトナムドン	6日	0.004791	22,370.00	25,366.23
	オーストラリアドル	6日	78.7413	1.3612	1.5435		欧州	ユーロ	5日	121.1040	0.8798
アジア	日本円	6日	1.0000	107.176	121.539	英国ポンド		5日	154.6190	0.6888	0.7829
	韓国ウォン	6日	0.09181	1,167.400	1,323.779	スイスフラン		5日	109.1880	0.9783	1.1091
	中国人民元	6日	16.3294	6.5642	7.4435	デンマーククローネ		5日	16.2769	6.5685	7.44042
	香港ドル	6日	13.7999	7.7671	8.8073	ロシアルーブル		5日	1.6280	65.7540	74.4040
	台湾ドル	6日	3.3176	32.3075	36.6349	ハンガリーフォリント		5日	38.7506	275.6030	312.4530
	フィリピンペソ	6日	2.3173	46.2505	52.4479	ポーランドズロチ		5日	27.5832	3.8687	4.3897
	シンガポールドル	6日	78.7737	1.3607	1.5428	チェココルナ		5日	4.4811	23.8606	27.0219
	マレーシアリンギ	6日	26.1133	4.1044	4.6471	スウェーデンクローナ		5日	13.0876	8.1759	9.2489
	タイバーツ	6日	3.0368	35.2910	40.018	北米		米ドル	5日	106.7440	1.0000
	インドネシアルピア	6日	0.008002	13,394.50	15,188.56		カナダドル	5日	82.3292	1.2955	1.4725
インドルピー	6日	1.5993	67.0230	75.9992	中南米	メキシコペソ	5日	5.7344	18.6563	21.1373	

オセアニア・アジア：19:30 JST(日本標準時)、欧州・北米・中南米：06:00 JST(日本標準時)時点



株式														
地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	
オセアニア	ウェリントン	NZSX50	休場				アジア	ジャカルタ	JSX	6日	4,896.03	42.10	370.11	
	シドニー	ASX	6日	5,431.00	38.50	108.20		マニラ	Composite PSE	6日	7,598.22	84.00	764.80	
アジア	東京	日経平均	6日	16,580.03	-62.20	-1,870.95	欧州	ホーチミン	ベトナム株価指数	6日	620.05	-1.83	45.64	
		TOPIX	6日	1,332.43	-4.80	-177.24		ムンバイ	SENSEX30	6日	26,777.45	-65.58	616.55	
		JASDAQ	6日	112.88	-0.26	-2.07		ロンドン	FTSE 100	5日	6,209.63	24.02	116.20	
	ソウル	総合	休場					フランクフルト	DAX	5日	10,103.26	-104.74	-180.18	
		KOSDAQ	休場					パリ	CAC40	5日	4,421.78	-44.22	-100.67	
	上海	B株	6日	350.96	-0.38	-46.37		アムステルダム	AEX	5日	445.31	-2.28	13.61	
	深セン	B株	6日	1,088.20	-0.03	-150.24		ミラノ	FTSEMIB	5日	17,495.09	-272.21	-3,238.72	
	香港	ハンセン	6日	21,030.22	82.98	-296.90		マドリード	IBEX35	5日	8,801.60	-156.30	-511.60	
		ハンセンH	6日	8,865.35	55.54	-445.83		ブリュッセル	BEL20	5日	3,490.55	-21.93	-152.24	
	台北	加権	6日	8,597.11	5.54	482.85		チューリヒ	SMI	5日	8,148.40	-57.42	-507.91	
シンガポール	ST指数	6日	2,831.28	22.05	-4.69	北米	ニューヨーク	ダウ	5日	17,807.06	-31.50	658.12		
クアラルンプール	KLSE総合	6日	1,648.99	12.53	-4.38		NASDAQ	5日	4,942.52	-28.84	39.43			
バンコク	SET	6日	1,443.42	6.99	180.01	トロント	トロント300	5日	14,226.78	89.79	1,299.63			



シンガポール

池に囲まれたスペースに設営された野外ステージ。壇上で奏でられる音楽が、スピーカーを通して、緑の木々が立ち並ぶ空間に広がっていく。この週末、シンガポール植物園で開かれた無料コンサート「オペラ・イン・ザ・パーク」。オーケストラと男女4人の歌手が、ブッチーニ「トゥーランドット」のARIA「誰も寝てはならぬ」など、おなじみのナンバーを聴かせてくれた。

子ども連れはもちろん、犬と一緒に来場者の姿もちらほら。思い思いに地べたに座るなどリラックスして、ステージ上で繰り広げられる演奏に耳を傾ける。夕暮れ時、時折聞こえてくる小鳥のさえずりが、音楽と絶妙のハーモニーを織り成す。

前座の少年合唱で、「となりのトトロ」の歌が日本語で披露されたのも、ちょっとしたサプライズ。園内に夜のとばりが下りる中、音楽の余韻に浸りながら、満たされた気持ちで家路に就いた。(塙)

インドネシア

「今朝、1人のおじいさんが発見されました」。週末の午前9時ごろ、近所のモスクのスピーカーからのアナウンスが鳴り響いた。耳を澄ませて聞いていると、どうやらそのおじいさん、迷子になってモスクにたどり着いたらしい。

名前は さん、年齢80歳、出身地、家では娘さんと、その夫と同居している……と、個人情報が出る。高齢だが、しっかり自分のことは話せるようだ。ただ、自宅の住所だけが言えなくて、道に迷ってしまい、帰宅できなくなったのだろうか。想像が膨らむ。

家族やご近所さんが、放送を聞いてモスクまで早く迎えに来てくれるといいが、毎朝3時半ごろからモスクから発するアザーン(礼拝の呼びかけ)の大音響は、聞こえないように枕をぎゅっと耳に押し当て、もたえることも多い。だが、あのスピーカーは、大事な役割も担っていることを知った。(麻)

中国

もうすぐアドレナリンが湧き出る瞬間がやってくる。所属する日本人プラス&ビッグバンドの団体「B j B j」の夏のライブがあるのだ。

30人強いるメンバーは、10代の留学生から定年退職した60代までと幅広い。ライブのときだけ日本から北京にやってくるメンバーもいるが、同じ舞台に立つと心が一つになって、高揚感を共有できるから不思議だ。

こういった日本人の楽器愛好者サークルがあるのは北京だけでなく、上海には「上海プラス」、深センには「深センプラス」がある。上海プラスにはなんと、メンバーが70人もいるそうだ。

プライベートで打ち込める趣味があると、日々の生活にも張りが出るもの。私はB j B jをきっかけに15年ぶりにトロンボーンを吹き始めた。短期間でも楽器に触れた経験のある人は、参加を検討されてはいかがだろうか。(天)



海を越え、都市をつないで、

NNAからアジアの今を



香港

ここは遊園地か。はたまた保育園の大型イベントか。あふれかえる子どもの数に目を奪われた。週末訪れた新界・セン湾(セン=くさかんむりに全)の商業施設、「D・パーク(愉景新城)」は、若いファミリーの来場者で大にぎわい。「子どものための消費は落ち込まない」との見込み通り、今年4月にリニューアルオープンした子ども向け商業施設は大繁盛だ。

D・パークの売りはもう1つ。韓国ブランドが充実していることだ。食や化粧品、アパレルだけでなく、生活雑貨の「モダンハウス」やシューズブランド「シューペン」の出店が人気を呼んでいる。割安でシンプルなおしゃれ雑貨が、手頃な広さの店内に陳列され、Kポップを聞きながら買物を楽しむことができる。

香港に数ある商業施設の中で、異彩を放つD・パーク。財布の紐を緩ませてしまふ戦略は注目に値する。(優)

韓国

韓国を代表するテーマパーク、エバーランド(京畿道龍仁市)の隣にある美術館を訪れた。サムスン電子の創設者である李ビョンチョル氏が創設したもので、彼の雅号をとって湖巖美術館と呼ばれる。

周囲は韓国風の庭園と湖があり散策にも絶好の場所。美術館には仏教美術や朝鮮時代の家具、陶磁器、朝鮮民画が展示されていた。朝鮮民画は魔よけや開運など実用的な目的で庶民が描いたもので、屏風にしたり、壁に貼ったりしたという。特に虎の絵が印象に残った。かつては朝鮮半島に生息した虎は当時の人々にとって身近な存在。民画の中の虎は、擬人化されたり風刺化されたりするなど、どこか滑稽に描かれているのが特徴だ。

当方が幼少のころによく訪れた祖父の家の襖にも虎が描かれていたが、とてもリアルな絵で、魔よけどころか、恐ろしくて近づけなかった記憶がある。(碩)

オーストラリア

メルボルンからシドニーに戻る飛行機が、ターミナルでその日の最終便だった。離陸1時間前に到着した空港はガラガラ。荷物検査も「早く行け」とばかりにスムーズ。さっさと家に帰りたいのだろう。

夕食を食べそびれ、ファストフード店くらいは開いているかと思ったが、無常にも軒並みシャッターが下りていた。搭乗も開始時刻の10分前には早くも受け付けが始まり、機内では乗務員がテキパキと乗客を誘導し、座席上のロッカーをどんどん閉めていく。普段目にしないシャープな動きに目を見張る。

予定時間よりも早く離陸した機内では、乗務員が「長い1日でした。乗務員一同、皆様と同じくシドニーに一刻でも早く着きたいと思っています」とのアナウンスがあり、つい隣の客と顔を見合わせた。オージーの「早く帰りたいパワー」、ほかの時間帯にも生かせないものか。(葉羽)

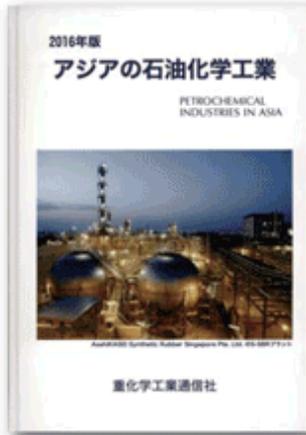


あなたのアジアビジネスのために――

NNAのウェブサイトが新しくなります。

2016.7.4

探しやすく、読みやすく



世界経済の激動に揉まれながらも力強い成長路線を歩んできたアジアの石油化学産業は、生産・需要ともに量的な拡大傾向を続けてきました。この成長市場に向けて、中東では再び大規模な新增設計画が進められており、アジア最大の胃袋となった中国でも、輸入の拡大を抑えるべく国内の新增設計画を推進しています。注目の中国は今後さらにどう動くのか、目が離せないアジア石化工業の現状をまとめました。

発行：2015 年 12 月 17 日
仕様：B5 判/上製/ 582 ページ



2016年版 アジアの石油化学工業 冊

タイ国内販売価格
 ■定価：14,700THB
 ■有料サービス契約者 (価格)：13,230THB

お申込み ▶ FAX：02-392-0479 E-MAIL：sales_th@nna.asia

※下記にご記入のうえ、上記の FAX あるいは E-MAIL にてご返送ください

会社名 (Company Name)	部署名 (Dept)
氏名 (Name)	役職 (Position)
住所 (Address)	E-mail @
電話 (Tel)	F A X

※ご記入いただいた個人情報は、発送・請求・資料送付業務以外の目的には使用いたしません。ご本人から承諾を得たとき、法令に基づくとき、正当な理由のあるときを除き、個人情報を第三者に提供いたしません。



NNA (THAILAND)CO., LTD.
 23/61 Sorachai Building 18 Floor, Sukhumvit 63 Road, North Klongtan, Wattana, Bangkok 10110 Thailand
 【お問い合わせ】TEL：02-392-0475 FAX：02-392-0479 E-MAIL：sales_th@nna.asia http://www.nna.jp/